

## 第6学年 国語科学習指導案

1. 日時・場所 令和 5年 6月23日(金) 5校時 6年1組2組教室
2. 単元名 目指せ!池上彰 ~説得力マスターへ~  
教材名「笑うから楽しい」「時計の時間と心の時間(光村図書)」
3. 単元構想

〈テーマに迫るための手立てや工夫・日常的な取り組み〉

高学年の目指す子ども像・・・

『自分事として考え、友達の考えに興味をもって聴き、全体を巻き込んで話し合う子』

(1) 自分の思いを言葉で表現するために

- ・自身の意見と事例を、「結論・理由・例えば」を常に考えるようにしている。

(2) 語彙を豊かにするために

- ・言葉の宝箱を活用したり、言葉に関わる掲示物をクラスに掲示したりしている。

(3) 伝え合い活動を楽しむために

- ・自分の思いを共有する上で、自信をもって発言ができるように、小グループで伝え合った後に、全体で話し合う時間を設ける。

- ・相手意識をもって伝え合えるように、相互指名を用いて児童同士の発言をつなげていけるように指導している。

〈主たる言語活動〉

- ・筆者の主張や意図を捉え、自分の考えを伝え合う。

#### 4. 単元目標

- ・原因と結果などの情報と情報との関係について理解する。

[知識及び技能] ((2)言葉の使い方に関する事項 カ)

- ・目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりする。

[思考力・判断力・表現力等] (C 読むこと ウ)

- ・言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して、思いや考えを伝え合おうとする。

[学びに向かう力、人間性等]

#### 5. 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・原因と結果などの情報と情報との関係について理解している。((2)ア)	・読むことにおいて、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりする。(思C(1)ウ)	・積極的に論の進め方を工夫し、今までの学習を生かして、自分の考えを述べようとしている。

6. 学習指導計画（8時間扱い）

次	時	【 】 評価規準 ☆ 評価方法	○主な学習活動 ・予想される児童の反応	・指導上の留意点
	0		○「読書タイムの長さは15分でよいか」について話し合う。 ・目線や身ぶり ・実物やデータ ・実際の場面での例	・前単元「きいて考えて深めよう」にて、話し手側に説得力をもたせるためには、どのようにしたらよいかを振り返る。
一	1 2	【知識・技能】 ☆発言・観察 原因と結果などの情報と情報との関係について理解している。((2)ア)	説得力のある論を伝えられる技をゲットしよう！	
			○説明的な文章の主張や意図を捉え、自分の考えを伝え合うという学習の見通しをもつ。 ○「笑うから楽しい」を読み、文章構成を整理する。 ○主張と事例の関係、筆者の意図について考える。 ○筆者の主張に対する自分の考えを伝え合う。	・5年生の学習である、主張や事例などの用語について確認する。 ・総括型の説明文 ・事例について自分の経験を話し合わせる ・事例の順番について考えることで、筆者の意図について考えたい。
二	3		主張と事例の関係を捉えて読もう。	
			○「時計の時間と心の時間」を読み、文章構成を整理する。 ○「時計の時間」と「心の時間」について筆者の考えをまとめる。	・前時の学習をふりかえりながら進める。 ・総括型 事例4つを押さえる。
			主張と事例との関係に着目し、筆者の意図について考えよう。	
	4 ★ 本 時 ①		○4つの事例について確認し、それぞれの事例に対する自分の考えを伝え合う。(自分の経験を振り共感できるところや疑問に思う事) ○筆者の意図を考える。  なぜ4つの事例をあげたか。 なぜ、この順番にしたのか。	・共有することを通して、心の時間のズレを様々な視点から感じとらせたい。 ・次時の自分の考えの形成につながるように、ワークシートに記入させておく。 ・前時までには学習したことを生かして考えられるよう、掲示

	5 6	<p><b>【思考・判断】</b> ☆発言・記述</p> <p>目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考たりする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心の状態</li> <li>・体の状態</li> <li>・身の回りの環境</li> <li>・人よっての感覚の差</li> </ul>	<p>しておく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主張を支える事例だということを押さえる。</li> </ul>
			<p>筆者の主張について、自分の考えをまとめて、伝え合おう</p>	
			<ul style="list-style-type: none"> <li>○「時間と付き合い知恵」とはどういうことか話し合う。</li> <li>○筆者の主張に共感するか、疑問か、それは、どの部分に対してなのか、自分の考えをまとめる。</li> <li>○筆者の主張について考えたことを、友達と伝え合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P53 の発表の例をもとに、「自分の考え」「理由や具体例」「まとめ」で構成できるようにする。</li> </ul>
三	7 8	<p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ☆発言・記述</p> <p>積極的に論の進め方を工夫し、今までの学習を生かして、自分の考えを述べようとしている。</p>	<p>ゲットした技を生かして、自分の考えを友達につたえよう。</p>	
	★ 本 時 ②		<ul style="list-style-type: none"> <li>○「読書タイムの長さは15分でよいか」</li> <li>○説得力ある論にするために、事例の必要性を確認する。</li> <li>○自分の考えをまとめる。</li> <li>○グループで自分の考えを伝え合う。</li> <li>○全体で共有する</li> <li>○ふりかえり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前单元よりも、パワーアップしていたい。</li> <li>・説得力のある論の展開の仕方に着目する。</li> <li>・これからに生かしたいこと</li> </ul>

7. 本時の学習（6—2 8/8時）

(1) 目標 説得力のある論にするために培ってきた技を生かし、話題に対して自分の考えを伝え合うことができる。

(2) 展開

<p>【 】評価規準 ☆ 評価方法</p>	<p>○主な学習活動 ・予想される児童の反応</p>	<p>・指導上の留意点</p>
<p>☆発言・記述 積極的に論の進め方を工夫し、今までの学習を生かして、自分の考えを述べようとしている。</p>	<p>○説得力ある論にするために、事例の必要性を確認する。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;"> <p>ゲットした技を生かして、自分の考えを友達につたえよう。</p> </div> <p>○「読書タイムは、15分がよいかどうか」について自分の考え、経験と、見つけた事例を整理する。 ・日本では読解力が低下している現状がある。(PISA 調査) ・読書を継続的に行うことで、学力向上にもつながる。(ベネッセ) ・集中力がつき、言語能力が伸びる。(東京新聞)</p> <p>○「読書タイムは、15分がよいかどうか」について話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;"> <p>15分がよい</p> </div> <p>・6分間の読書でストレスレベルを68%下げることができるとイギリスの研究が出ているので、15分という時間で集中して読む方がよい。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;"> <p>15分以外がよい</p> </div> <p>・「紙の本が脳を創る」この言葉は、東京大学大学院の教授の言葉です。単に書かれている内容を読み取るだけではなく、伏線や状況を想像することで、脳が活性化すると思ったのもう少し時間が欲しい。</p> <p>○振り返り</p>	<p>・時計の時間と心の時間で学んできた事例の必要性を想起し、本時展開につなげていく。</p> <p>・事例や経験を整理しながら、考えを書き込めるワークシートにする。 ・長いよさ、短いと困ることは何か考えて前時に調べた事例を書いていく。</p> <p>・小人数グループで自分の考えを交流し、自信をもって話し合いに参加できるようにする。 ・具体的な言葉で紡いでいくために、「結論・理由・例えば」を活用して、話し合いを進める。 ・論を述べた人の、事例の提示の仕方、順番、説得力がどうであったかを必ず伝え合うようにしていく。</p> <p>・この単元を通して学んだことや、これから生かしていきたいことを振り返る。</p>

参観の視点：話し合いの時に、説得力のある論にするために、主張を支える事例を用いることができたか。

9. 本時の学習 (6-1 4/8時)

(1) 目標 筆者の挙げた事例について自分の経験と重ねて読み深め、筆者の意図について話し合うことができる。

(2) 展開

<p>【 】 評価規準 ☆ 評価方法</p>	<p>○主な学習活動 ・予想される児童の反応</p>	<p>・指導上の留意点</p>
	<p>○前時までの活動を振り返り、本時の活動を知る。</p>	<p>・前時までの学習(筆者の主張や双括型の構成)を確認できるように、掲示しておく。</p>
<p>4つの事例に着目し、筆者の意図を探ろう。</p>		
<p>【思考・判断・表現】 ☆発言・記述 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けている。</p>	<p>○自分の生活や経験と関係づけながら、各事例に対する自分の考えを伝え合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事例について納得度は、どのくらいか。</li> <li>・納得できるのは、なぜか。(自分の経験)</li> <li>・納得できないのは、なぜか。(自分の経験)</li> <li>・友達の考えを聞いて、自分の考えに影響するのは、ないか。</li> </ul> </div> <p>1. その時に行っていることをどう感じるかによって変わる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・納得度は、☆3つで嫌いな教科の授業中は、とても時間が長く感じるからです。</li> <li>・〇〇さんが今いったことも、そうだけど、よく知らない人と一緒にいる時も長く感じると、私は思いました。</li> </ul> <p>2. 一日の時間帯によっても進み方が変わる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・納得度は、☆2つで・・・朝ごはんを食べる時間が無いことが思いうかんだけど、このグラフがよく意味がわかりません。</li> <li>・このグラフは・・・</li> </ul> <p>3. 身の周りの環境によっても進み方は変わる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・納得度は、☆1つかな・・・私は、物がたくさんある方がなんか落ち着く感じがしてゆったり時間が流れる気がするからです。</li> <li>・ぼくは、☆2つで、物が多い方が、いろいろな気になって見るから、あつという間に時間が過ぎる気がする。</li> </ul> <p>4. 人によって感覚が異なるという特性がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・納得度は、☆2つです。なぜなら、自分にとって心地よいテンポが違うというのは何となくわかるのだけど・・・</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えをメモしながら整理できるようにワークシートを用いる</li> <li>・自分の考えをもてるようにお一人様タイム⇒ご近所タイム⇒クラス全員タイムをつくる。</li> <li>・全員が机の上に「☆幾つ」を表示できるようにして、子どもたち同士が、友達の考えに興味をもてるようにする。</li> <li>・自分の考えをメモしながら整理できるようにワークシートを用いる。</li> <li>・事例に対して、どの部分が共感出来て、どの部分は共感できないのか、何が疑問なのかを、友達と共有できるようにする。</li> <li>・図表が使われていることにも、目を向けさせて、筆者の意図を考えることにつなげられるようにする。</li> </ul>

<p>【思考・判断・表現】 ☆発言・記述 目的に応じて、文章と 図表などを結び付ける などして必要な情報 を見付けたり、論の進め 方について考えたりし ている。</p>	<p>○筆者の意図を考える 【なぜ、4つの事例をあげたのか。】 【どうしてこの順番なのか。】 (事例2つと比べて) (事例の順番が違ったら) ・経験と照らし合わせられるもの ・科学的な実験結果 ・実験に実験を重ねたもの</p> <p>○ふりかえり</p>	<p>・「笑うからたのしい」 の筆者の意図を思い 起こし、参考にする。</p>
--	---	---

参観の視点：それぞれの事例について話し合ったことが、筆者の意図を探る糸口になっていたか。